



# 地域密着型金融の取り組み ～2017年度の取組結果について～

# 目次

1. 地域密着型金融の推進に関する基本方針 P.2
2. CSR憲章(経営理念) P.3
3. 地域密着型金融の取り組み P.4~P.13

# 1. 地域密着型金融の推進に関する基本方針

地方銀行は地域社会と歩みをともにしており、地域の成長なくして当行の成長はありません。

私たちの使命は「地域社会の未来」を見すえた銀行経営を通じて、CSR憲章にかかげる「共存共栄」を実現していくことです。その実現のために、第6次中期経営計画(2016年4月～2019年3月)において、当行が長期的に目指すべき姿を「未来創造銀行『The・ちぎん』」としています。

「未来創造銀行」には、当行に係わるすべてのステークホルダーの未来を創るとの決意を込めており、地域密着型金融による「地方創生」の実現こそが地域金融機関の果たすべき責務と認識しております。当行は、引き続き3つの視点(「お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮」「地域の面的再生への積極的な参画」「地域やお客さまに対する積極的な情報発信」)を踏まえて、地域密着型金融の推進に取り組んでまいります。

## 2. CSR憲章(経営理念)

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR（企業の社会的責任）の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

### （地域社会との共存共栄）

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

### （役職員との共存共栄）

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

### （地球環境との共存共栄）

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

### 3. 地域密着型金融の取り組み（「金融仲介機能のベンチマーク」に対応する項目を中心にご紹介します。）

#### (1)地域の未来をともに創る ～「事業性評価」に基づいた融資やソリューション～

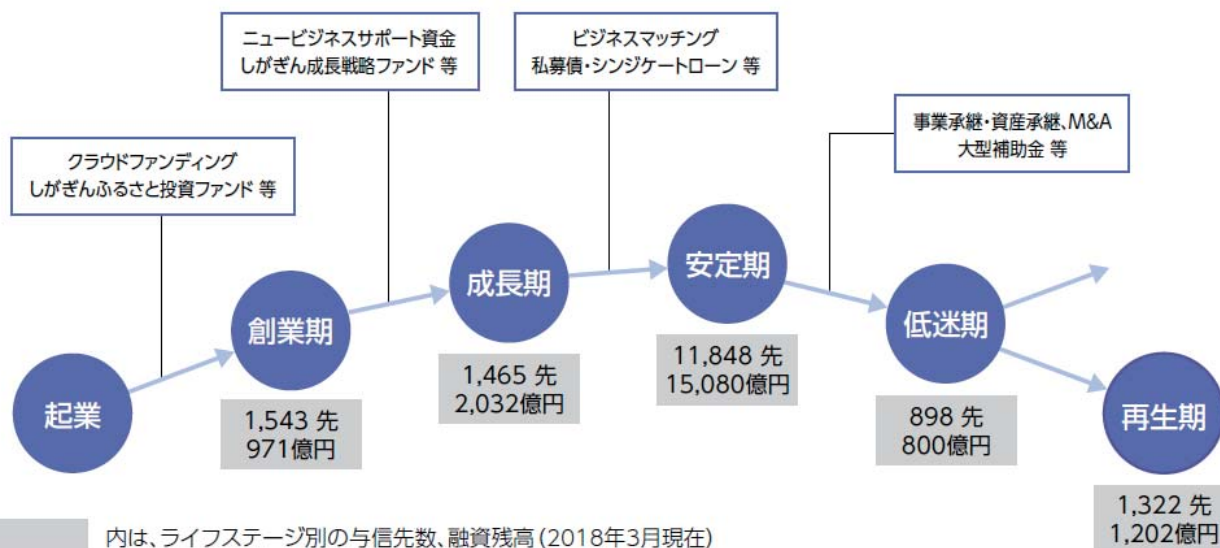
当行は、CSR憲章に掲げる「地域社会」との共存共栄を目指し、「事業性評価※」に基づく融資やソリューションの提供により、地方創生や持続可能な社会の実現に努めています。

※ 事業性評価とは

財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、企業の事業内容や成長可能性などを適切に評価すること。経営理念や経営の強み・弱み、また将来に対するビジョンや行動計画などを含めた多面的な視点で、お取引先の実態把握を行います。

#### ライフステージに応じたソリューションの提供

コンサルティング機能の発揮・多様な金融手法の提供



コンサルティング機能を発揮すべく、お取引先のライフステージに応じた多様な金融手法を提供しています。

特に、お取引先の本業を支援することにより、経営課題の解決に注力し、ともに成長していく好循環の創出を目指しています。

## (2)格付コミュニケーション・サービス、格付シミュレーション・サービスの取り組み

### ①「格付コミュニケーション・サービス」

格付プロセスを通じて把握したお取引先の「強み」、「弱み」を共有し、問題解決や財務改善を図ることで、お取引先の永続的な経営基盤の構築や企業価値向上を目指すものです。

### ②「格付シミュレーション・サービス」

当行独自の格付プロセスの構築により、将来予想される財務内容から定量格付のシミュレーションが可能になりました。(2015年12月運用開始)

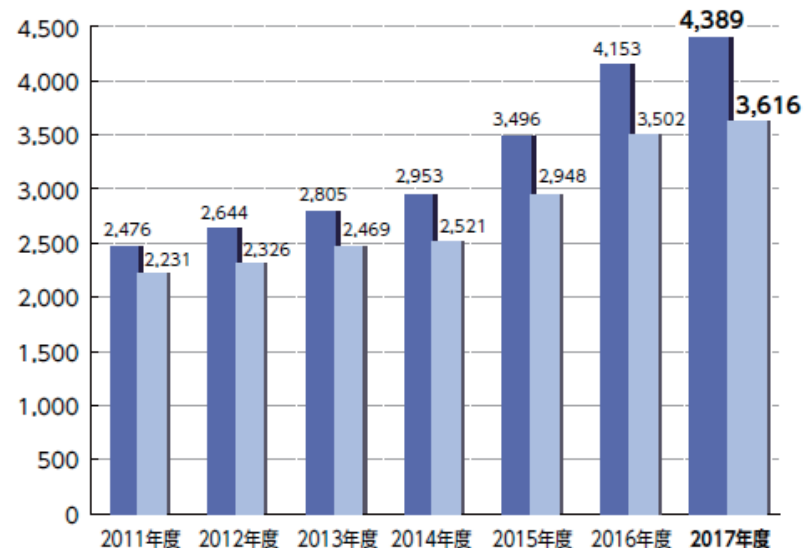
「格付コミュニケーション・サービス」でお聞きした将来ビジョンを財務諸表に具体化し、定量格付を予測するプロセスを通じて、お取引先と事業の将来について対話を行います。お話しいただいた内容をもとに、お取引先の将来に向けた取り組みのサポートにつなげていきます。

当行は、お客さまと双方向の議論を重ねながら課題解決と成長に向けた取り組みを行っています。

格付コミュニケーション・サービスの実施先累計



■ 格付コミュニケーション・サービスを実施したお取引先(単位:社数)  
 ■ うち与信先(単位:社数)



格付コミュニケーション・サービス  
 継続実施先における経営改善状況



項目	2016年度	2017年度
格付コミュニケーション・サービス継続実施先	1,341	1,368
うち、経営改善先	1,007	1,021

### (3)事業性評価に基づく融資、ソリューションの提供

当行は、「事業性評価」を「お客さまとの日常のコミュニケーション」を大切に、業界動向や事業内容を分析した上で、その将来性を評価すること」と捉え、担保・保証に必要以上に依存せず、この事業性評価に基づく融資やソリューションの提供を行うことが重要であると考えています。

そして、この事業性評価に基づく融資や、企業のライフステージに応じた最適なソリューションの提案を行うことにより地域経済の発展に貢献していくことが当行の役割であると考えています。

#### 格付コミュニケーション・サービス (格付CS)

過去

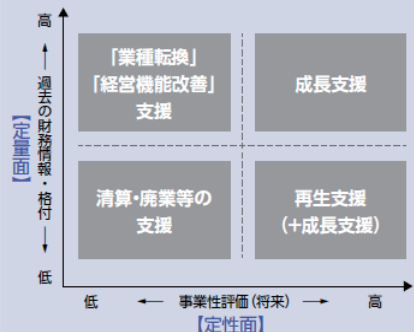
業界動向や事業内容の他、お客さまの過去の財務状況を分析し、お客さまの「強み」「弱み」を共有します。

#### 格付シミュレーション・サービス (格付SS)

未来

お客さまの経営戦略(目標)に基づく将来の財務内容を予測・共有し、企業価値向上をサポートします。

#### 事業性評価に基づく融資・ソリューションの提供



地域経済の発展

#### 全お取引先数と地域のお取引先数の推移、および、地域の企業数との比較



項目	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期	
	地元	地元外	地元	地元外	地元	地元外
全お取引先数	22,443		23,496		23,703	
地域別のお取引先数	14,909	7,109 (SPC:9)	15,526 (SPC:1)	7,488 (SPC:18)	15,439 (SPC:1)	7,757 (SPC:18)
地域別の企業数の推移	48,914	1,807,845	48,914	1,807,845	49,036	1,896,779

#### 当行メインお取引先と全お取引先に占める割合



項目	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
A 全お取引先数	22,470	22,443	23,496	23,703
B 当行メインお取引先 (単体)	9,087	9,109	9,268	9,422
割合 (B/A)	40.4%	40.6%	39.4%	39.8%

#### 当行メインお取引先の

#### 経営改善状況と融資残高推移



項目	2017年3月期	2018年3月期
A 当行メインお取引先 (グループ)	7,820	7,891
メインお取引先の融資残高 (億円)	8,291	8,414
B うち経営指標改善先	4,198	4,196
割合 (B/A)	53.7%	53.2%

#### 経営指標改善先の融資残高推移 (億円)

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
	5,403	5,677	5,646

# (4)創業・新規事業開拓の支援

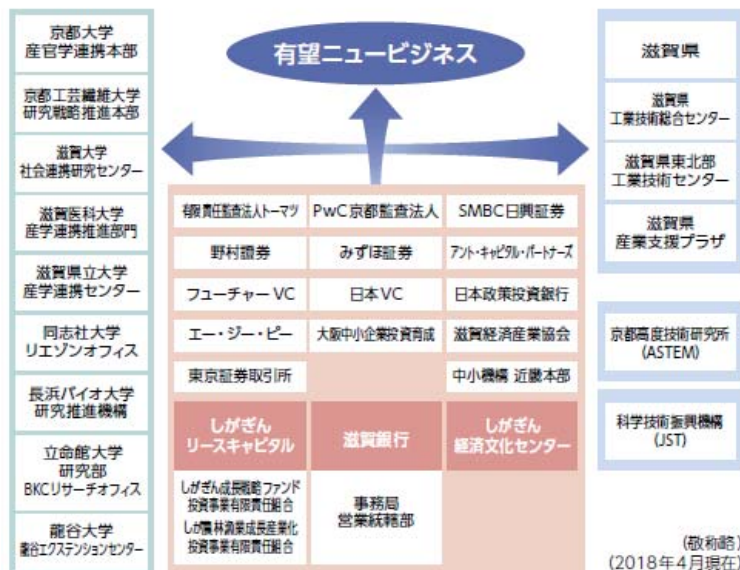
## ①未来を担う次世代ビジネスの創造を目指した取組

- 「サタデー起業塾」によるビジネスヒントの提供
- ニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」による産学官連携サポート、多様な資金ニーズにお応えする「しがぎんニュービジネスサポート資金」
- 「しがぎん成長戦略ファンド」による投融資 等



項目	2017年3月期	2018年3月期
当行が関与した創業件数	222	211
当行が関与した第二創業件数	31	28

### しがぎん ニュービジネス支援ネットワーク 野の花応援団



## ②しがぎんニュービジネスサポート資金

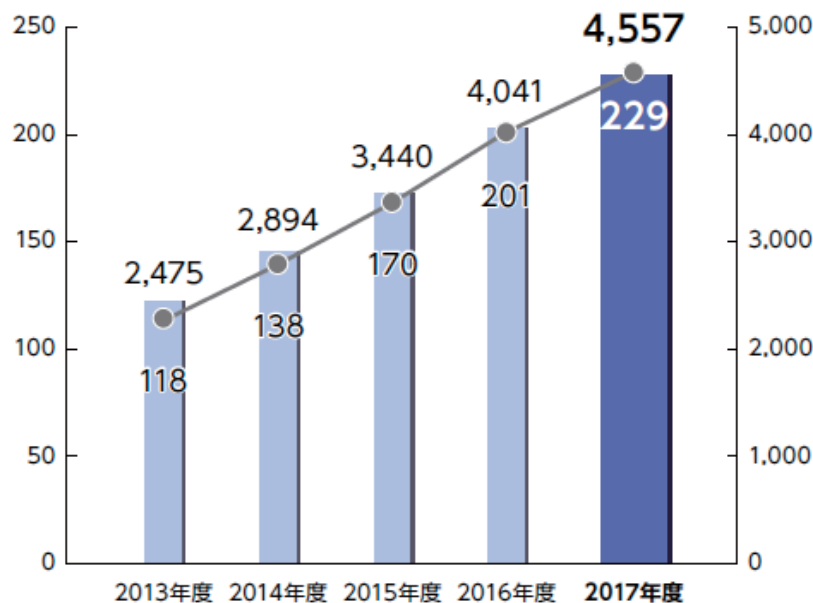
新分野進出や新事業展開に必要な資金をサポートする「ニュービジネスサポート資金（通称 野の花資金）」は、累計229社に対して45億円超を実行しています。

2018年3月には、「SDGsプラン」を新設。社会的課題の解決に取り組むニュービジネスを融資でサポートしています。



### しがぎんニュービジネスサポート資金 累計実績

■ 金額(単位:百万円)    ● 件数(単位:件)



## (5)多様な金融手法の提供

### ①クラウドファンディングによる地域ブランドの育成

クラウドファンディングの手法を通じて、地域ブランドの魅力向上や、地域資源を利用した新商品・サービスの提供に取り組み事業者をサポートしています。ニーズや特徴にあわせ、複数のクラウドファンディング運営会社と連携しています。

#### 「しがぎんふるさと投資ファンド」

2015年2月、クラウドファンディングの手法により組成された個別ファンドを主たる投資対象とする「しがぎんふるさと投資ファンド」を設立。当ファンドからの出資により「呼び水」効果が期待できる小口ファンドに対して、これまで5件の個別出資を行い、クラウドファンディングの活用をサポートしています。(2018年3月末時点)

#### ファンド事例



### ② A B L

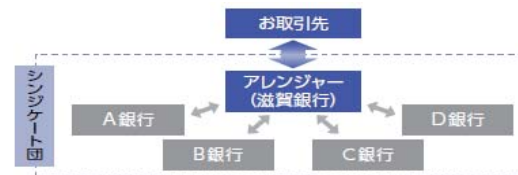


動産担保融資(Asset Based Lending)の手法を活用し、不動産担保や保証によらない柔軟な資金調達に対応しています。

項目	2017年3月期	2018年3月期
取組件数	139	182
残高(億円)	122	142

### ③シンジケートローン

多額の資金需要を、複数金融機関による協調融資によって、お取引先の成長支援を後押ししています。



### ④電子記録債権

➤『しがぎん』でんさいサービス(2013年2月開始)

当行の多くのお取引先にご利用いただいています。

➤でんさいファクタリングサービス

でんさいを活用した新たな資金調達手法として独自に開発したサービスです。納入企業が受領した「でんさい」を当行がノンリコース(=買戻し義務無し)で買い取りします。

➤電手買取サービス

電子記録債権「電子手形(電手)」をノンリコース(=買戻し義務無し)で買い取りするサービスを取り扱っています。

# (6)地域金融機関の本分 = 本業支援による経営課題の解決 その1

## ①事業承継・資産承継対策

経験豊富な中小企業診断士や1級ファイナンシャル・プランニング技能士等の資格を有する行員が、事業や資産承継に関する最適なお提案を行っています。



項目	2017年3月期	2018年3月期
事業承継支援先数	343	330

## ②M & A

企業の経営戦略の一つとして、M & A(企業の合併・買収)が注目されています。

一般的にM & Aには次のようなメリットがあるといわれています。



買い手	売り手
営業エリアの拡大	後継者難の解消
本業の強化	創業者利益の実現
収益源の多様化	持続可能な成長の実現
人材の獲得	本業への集中



項目	2017年3月期	2018年3月期
M&A サポート先数	28	35

## ③ビジネスマッチング

法人・個人事業主の皆さまの売上向上や販路拡大につなげるべく、当行支店網を活用した有効な商談設定(=ビジネスマッチング)に取り組んでいます。



項目	2017年3月期	2018年3月期
販売開拓支援先数	59	57

## ④エコビジネスマッチングフェア



お取引先の販路拡大を目指し、例年「エコビジネスマッチングフェア」を開催しています。11回目を迎える2018年度は7月11日琵琶湖ホテルにて開催。

- 「しがぎんSDGs宣言」(2017年11月表明)に基づき、社会的課題解決に取り組むビジネスをサポートしています。
- 海外進出のサポートを目的としたセミナーも同時開催。
- 金融サポートコーナーでは農産品の国際規格である「GLOBALG.A.P」取得支援や、クラウド会計を活用した生産性向上の取り組みをご紹介します。



## (7)地域金融機関の本分＝本業支援による経営課題の解決 その2

### ①当行のGAP認証取得支援の取り組み

食の安全・環境保全・労働安全の向上、農業の国際競争力の強化、地域経済の活性化や地域の環境保全に資する国際認証（GAP※）等の普及拡大をサポートし若手農家の育成、企業の農業参入の促進などを目指しています。

#### ※GAP

農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検および評価を行うことによる持続的な改善活動。

### ②地方銀行フードセレクション

2017年11月9日～10日に東京ビッグサイトにおいて「地方銀行フードセレクション2017」を地方銀行55行で共同開催。

全国から831社の食品関連企業が出展し、当行のお取引先16社・団体にご出展いただきました。



### ③アグリビジネスローン

2014年5月、滋賀県農業信用基金協会の保証付融資「アグリビジネスローン」の取り扱いを開始。農業事業者さまの資金需要に幅広く対応しています。



### ④しが6次産業化ファンド

2014年9月、滋賀中央信用金庫、長浜信用金庫、湖東信用金庫、滋賀県信用組合、農林漁業成長産業化支援機構と共同で「しが農林漁業成長産業化投資事業有限責任組合」を設立（総額5億円）。

6次産業化事業体への出資を通じて、新たな加工や流通につながる農林漁業の生産性向上等に向けたサポートを行っています。



### ⑤プロフェッショナル人材マッチングサポート

地方創生ならびに地域経済のさらなる活性化を目指し、プロフェッショナル人材戦略拠点や日本人材機構、専門事業者と連携して人材に関するニーズを抱える当行のお取引先に、安定した雇用の創出や、地域への人材還流をサポートしています。

## (8)お取引先の企業経営をバックアップ

### ①経営改善計画の策定サポート

「格付コミュニケーション・サービス」で認識したお取引先の課題や問題点の改善策の一つとして、「経営改善計画」の策定をサポートしています。また、策定した経営改善計画の進捗状況は適宜フォローし、お取引先の経営改善に向けた取り組みをサポートしています。

#### 貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況



項目	条件変更数	好調先	順調先	不調先*
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	1,216	35	220	961

\* 不調先には、経営改善計画未策定先および、ご相談シート(簡易計画)策定先を含む

#### 事業再生支援先における実抜計画策定先と同計画の達成の割合



項目	実抜計画策定先数	達成先数	未達成先数
実抜計画先数と達成の割合	83	80	3
		96.4%	3.6%

### ②経営者保証ガイドラインへの取り組み

経営者保証に依存しないご融資の促進に努めています。

#### 2017年度実績 (2017年4月1日～2018年3月31日まで)



項目	件数
新規ご融資件数	17,945
うち、無保証融資件数	3,540
経営者保証に依存しないご融資の割合	19.7%

### ③抜本的な事業再生支援の取り組み

金融支援を含む事業再生は、公正中立な第三者機関である中小企業再生支援協議会等と連携を強化し、お取引先企業の再生に全力をあげています。



項目	2017年度
中小企業再生支援協議会の利用先数	6先

#### 経営改善計画に基づいて実施した金融支援:36先(重複あり)

DDS (債務の劣後化)	25先
DES (債務の株式化)	3先
DPO (債権譲渡)	10先

#### 再生支援の取組実績

M&A スキーム	19先
うち民事再生法等の活用	3先
うち私的整理型 M&A	16先
第2会社方式スキーム	7先

#### 主な外部専門家連携先(中小企業再生支援協議会除く)

コンサル会社	26先
弁護士、法律事務所	7先
その他専門家	9先

## (9)戦略的CSRへの挑戦 1

### CSR私募債「つながり」

CSR私募債「つながり」は、次世代を担う子どもたちの健全な育成と、地域社会との「つながり」を応援するため、当行が私募債発行金額の0.2%相当額を拠出し、「子どもたちの学びや成長を応援する物品」を学校等へ寄贈する商品です。

2014年、近畿の地方銀行で初めて「CSR私募債」の取り扱いを開始してから約4年。これまでの私募債発行総額は312億円、発行件数は360件と大変多くの企業さまにご賛同いただき、小中学校など289先に総額4,762万円相当の品々を寄贈しました。

### CSR私募債の仕組み

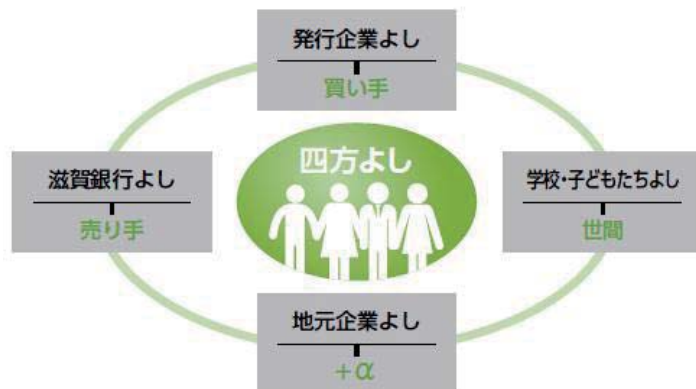


### CSR私募債導入による発行企業さまのメリット

- 学校教育を通じた社会貢献につながります。
- CSRに対する取り組み姿勢を広くアピールできます。
- 優良企業であることの証明、企業イメージの向上につながります。

### 地域社会との“四方よし”

近江商人の商人道徳「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」。CSR私募債は、この「三方よし」に「地元企業よし」を加えた「四方よし」を実現することで、地域社会との共存共栄を目指しています。



#### 【売り手】滋賀銀行

→資金ニーズの発掘

#### 【買い手】発行企業

→地元への社会貢献、優良企業の証明、イメージ向上

#### 【世間】学校・子どもたち

→学びや成長を応援する物品の贈呈

#### 【+α】地元企業

→地域経済活性化(地元企業で寄贈品を購入)

当行は、これからも様々な金融商品を通じて、地域社会の発展と明るい未来を願う皆さまの想いをカタチにして、よりよい社会の実現に貢献してまいります。

## (10)戦略的CSRへの挑戦 2

2017年11月22日、持続可能な社会の実現に努めることを誓い、「しがぎんSDGs宣言」を表明しました。

### 「しがぎんSDGs宣言」

“しがぎん”は、CSR憲章（経営理念）に掲げる「共存共栄」の精神のもと、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を私たちの企業行動につなげ、地域の社会的課題解決と経済成長の両立をはかり、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2017.11.22

取締役頭取 高橋 祥二郎

#### 重点項目(ターゲット2030)



#### 地域経済の創造

金融の力を通じて、社会的課題の解決とイノベーションの促進による新たなビジネスモデルを創出するとともに、地域の魅力を育み、人と街が成長する豊かな地域経済を創造します。



#### 地球環境の持続性

「環境経営」を主軸としたCSR経営を追求し、地球温暖化防止や生物多様性保全など、持続可能な社会の実現に努めます。



#### 多様な人材の育成

働き方改革とダイバーシティの推進により、すべての人々にとって生きがい・働きがいのある職場環境をつくり、もって個性と能力が存分に発揮できる持続可能な人材育成に努めます。



以上

### ①「ニュービジネスサポート資金(SDGsプラン)」取扱開始(2018年3月)

SDGsを活用し、アウトサイド・インの視点で新規事業に取り組みられるお取引先に向けて資金繰りや設備投資をサポートする融資商品で、最大1億円を所定の金利から最大0.3%優遇してご融資するものです。この商品が、お取引先の「社会的課題解決を起点にビジネスを創出する」きっかけとなり、地域とお取引先の持続可能な発展につながることを願っています。

#### 融資事例



- 貢献の取り組み：独自の水質浄化システムの開発
- 価値創造ストーリー：独自の水質浄化システムの開発を通じて、誰もが安心して利用できる「親水公園」を実現する。その技術を生かして事業の幅を広げ、さらなる地域課題の解決や、企業の持続可能な発展につなげる。

### ②「SDGsでつながるビジネス」をメインテーマに「サタデー起業塾」を開催

社会的課題の解決につながるビジネスを展開し各業界で活躍されている経営者による講演や、専門家によるビジネスプラン策定サポートなどを行い、創業・第二創業をサポートしています。

### ③しがぎん野の花賞に「SDGs賞」を新設

しがぎん野の花賞は、「サタデー起業塾」の受講生のうちニュービジネスへの取り組みを表彰するもの。2018年2月24日開催の最終選考会では、8社がビジネスプランを発表。「しがぎん野の花大賞」「協賛企業賞」「SDGs賞」「しがぎん野の花賞」を贈呈しました。

#### 表彰事例



- 貢献の取り組み：国産材を活用した木育玩具（ジャングルジム）の開発
- 価値創造ストーリー：安価な輸入木材が多用され、国産材が活用されずに山が荒廃している。ジャングルジムの制作に活用し、国産材使用の活路を見だし、また次世代の環境教育や、伝統技術継承につなげる。